

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

- ☆ 地域にあつて、地域とともに、地域の子どもを育てる。
- ☆ 地域の将来を担うひとづくりを目指し、日々の教育活動を実践する。

○ 内外の環境分析

- [外部環境]
 - ・本校は自然に恵まれた環境にあり、地域の人々は学校に対して大変協力的である。
 - ・本校は4小学校区からなっているが、それぞれの地域には強い共同体意識がある。学区内に娯楽施設や大規模商店はなく、落ち着いた環境で学習に励むことができる。
- [内部環境]
 - ・全校7学級（通常学級5学級、特別支援学級2学級）である。
 - ・素直で純朴な生徒が多く、授業に落ち着いて取り組んでいる。家庭学習の習慣化のさらなる向上を図る必要がある。
 - ・学校行事に積極的に取り組める。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- ☆ 生徒にとって学びたい楽しい学校、保護者や地域の人々にとって学ばせたい学校、職員にとって働きたい学校の実現。
- ・一人一人が生き生きと学ぼうとする意欲的な生徒が育つ学校。
- ・お互いの立場を尊重し、信頼を深め合う生徒が育つ学校。
- ・たくましい体力とそれを支える強い精神力とを鍛えようとする生徒が育つ学校。
- ・一人一人が達成感や充実感を感じる魅力ある学校。

○ 令和8年度の具体的な学校経営目標

[本年度の指導の重点]

- 1 爽やかで、夢や希望をもつ生徒の育成
 - (1) 場に応じた言葉づかいや態度を身に付け、夢や希望をもたせる取組
 - ・正しい言葉づかいはの定着を図るとともに、場面に応じた適切なコミュニケーション能力を育成する。
 - ・気持ちの良い挨拶（語先後礼の挨拶、自分から挨拶）を奨励する。
 - ・返事や発表の時の態度と声の大きさを指導するとともに支持的風土を醸成する。
 - ・コミュニケーションスキル、ひとづくり事業を活用し、生徒が夢や希望をもち、粘り強く取り組める教育活動を実践する。
 - (2) 他者に迷惑をかけないための交通マナーを守る取組
 - ・並進、一旦停止違反の解消を目指し、効果のある交通指導を行う。
 - ・安全ダスキの着用の定着化を図る。
- 2 他者への思いやりのある心豊かな生徒の育成
 - (1) 道徳教育の充実を図る取組
 - ・道徳教育推進教師と各学年の道徳担当を中心に授業づくりを行い、特別の教科道徳の授業実践を通して、実際の道徳実践のできる生徒の育成をめざす。
 - (2) 人権意識を高める取組
 - ・人権教育講演会や道徳の授業における取組を継続する。
 - ・インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進を行う。
 - ・人権教育拠点校事業の成果を活用した教育実践を行う。
 - (3) 生徒の活躍の場を多くする取組
 - ・行事や集会で、生徒による運営や進行など活躍の場を増やすことで、生徒が達成感や充実感を感じることができる学校づくりをめざす。
- 3 確かな学力を身に付けた生徒の育成
 - (1) 学力向上のための取組
 - ・ICT機器を効果的に活用し、わかりやすく楽しい授業づくりをすすめ、意欲的に学ぶ生徒の育成をめざす。
 - ・情報化社会に対応した、情報リテラシーや情報モラル教育を推進する。
 - ・学習意欲の向上と情緒的・社会的発達の促進を目指し、ペアやグループ活動による学び合い学習を積極的に取り入れることで、主体的・対話的で深い学びを実現する。
 - ・授業の中で、自分の考えや思いを表現できる場を設定する。
 - ・「モニタリングスタディ」を工夫改善し、基礎学力の向上を推進する。
 - (2) 家庭学習習慣を確立する取組
 - ・フォーサイト手帳を効果的に活用する。
 - ・家庭学習をより一層充実するための効果的な課題の提示を行う。
- 4 教職員の働き方改革を意識した取組
 - (1) 働き方改革を意識し、県の重点取組の月80時間を超える教職員数「ゼロ」を実践する。また、月あたりの時間外在校等時間が45時間以内となっている教員の割合も県の目標に近づける努力を行う。
 - (2) 校内の行事や業務等をより精選・重点化・省力化を推進し、先生方が働きやすい環境を整える。